

〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。〕

## 高島エリアの公共施設のあり方を考える市民対話《かわら版》

# ❀ 第2回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。



**日時** 平成30年6月24日(日) 15:30~17:30

**場所** 高島ふれあいセンター 多目的ホール

**参加者** 地域の皆さん 30人

## 1 第1回に話し合った内容

### 第1回

(5/20)

- ①長崎市の**公共施設の現状**（利用状況や老朽化の状況など）や**見直しの必要性**についてご説明しました。
- ②高島の将来を**安心して暮らしていけるまち**にしていくために、**どんな施設を見直すべきか**、また**その理由**について話し合いました。



### 第2回

(6/24)

- ①長崎市の公共施設の**基本的な配置の考え方**をご説明したうえで、市で検討した**高島の施設の見直し案**をお示しました。
- ②見直し案への**意見、アイデア**や**質問**について話し合いました。

## 2 市がお示した公共施設の配置の考え方と見直し案

### レクリエーション施設



飛島磯釣り公園



高島海水浴場及び  
高島ふれあいキャンプ場

豊かな自然環境を活用して、多くの人を地域に呼び込むことができます。市全体や地域の活性化に役立つ施設を維持していきます。

釣り公園は、将来的には老朽化による危険個所の利用の制限を検討するなど、施設のあり方を見直します。

海水浴場及びキャンプ場は、現在の施設を適切に管理します。

### コミュニティ施設



高島ふれあい  
センター

地域の皆さんが身近にふれ合い、さまざまな活動を行っていく場所（コミュニティ施設）については、気軽に立ち寄ることが出来る範囲として、概ね小学校区ごとに配置していく考えです。

高島ふれあいセンターは、地域のコミュニティ活動の施設として、現在の施設を適切に管理します。また、余剰スペースの活用を検討します。

### 幼稚園



高島幼稚園

安心して子育てをするために、子どもの保育・幼児教育サービスは必要です。

将来的に保育と幼児教育の機能を併せ持つ認定こども園を島内に1か所配置します。時期や配置場所については、島内の需要を見ながら、現在の施設又は島内の他の公共施設の活用も含めて検討します。

## 市営宿泊施設



しまの宿五平太

宿泊施設の運営は、本来民間事業者任せの分野であり、原則として既設の市営宿泊施設は将来的に廃止、もしくは民間移譲することとしています。

しまの宿五平太は、稼働率が低く、施設の老朽化が進んでおり、耐震性もないことから、このまま継続していくことは困難な状況なので、今後は、民間も含めた他の施設により機能の代替を図ることができないか検討します。

## 博物館等



高島石炭資料館

教育の振興や学術・文化の発展のために設置していますが、老朽化等により設置当初の機能を果たせていなかったり、展示物の移転・集約が可能な施設もあり、長崎市全体として、見直しを図ることとしています。

高島石炭資料館は、現在の建物の老朽化が進んでおり、他の施設へ移転する等、将来的なあり方を検討します。

## 小売市場



市設高島市場

長崎市が設置している小売市場については、民間の流通機能が発達したことから必要性は低くなっており、将来的には廃止していくこととしています。

高島市場は、島内での食料品や日用品等の安定的な供給を担っていますが、年々店舗数が減少し、継続が難しくなっていくことが見込まれます。

島内の買い物環境を維持していくために、手法や運営をどのようにすれば島内住民のニーズに対応できるか、島内小売事業者等からの意見を収集しながら、将来のあり方を検討します。

## 市営住宅



高島光町住宅 等

人口減少社会を迎え、将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小していく方針です。また、入居者の点在を解消し、効率的な維持管理が出来るようにしていく方針です。

高島地区の市営住宅は、耐震性が確保されている、比較的状态の良い建物を、高齢化に対応した改修も行いながら適切に維持管理し、併せて集約化を図っていくこととしています。

## 入浴施設



いやしの湯

風呂がない住宅が多く、民間参入が見込めない高島地区については、今後も入浴サービスが必要と考えます。

いやしの湯は、将来の人口・世帯数や市営住宅の風呂の整備の状況により、公衆浴場のバリアフリー化など、将来の利用方法や施設の見直しを検討しながら、適正に管理していきます。

## 庁舎等



高島地域センター

高島地域センターは、現在の施設を適切に管理します。また、他の施設の機能を集約できないか検討します。

行政手続きや地域のまちづくりを支援する拠点は、引き続き地域に必要と考えています。

高島地域センター第1別館は、老朽化が進み、耐震性もないことから、現在行われている活動を、地域センターをはじめとする他の施設へ集約し、廃止します。

高島地域センター第1別館



高島土木倉庫

高島土木倉庫は、実務上の必要に応じた、適切な場所でその機能を確保します。

## 消防

隣接する消防施設の位置などを考慮しながら、全市的な視点で配置します。

高島出張所は、施設の老朽化が進んでおり、島内の適正な場所への移転を検討します。



高島出張所

# ながさき暮らし体験施設

定住者を増やす取り組みは今後も継続していきます。



高島地区中長期型滞在施設

高島地区中長期型滞在施設は、老朽化が進み、今後の維持管理に相当なコストが生じますので、将来的に廃止しますが、今後とも事業手法を工夫しながら、移住定住促進対策を進めていきます。

## 公園

公園は、レクリエーションの場となるほか、良好な景観の形成、防災性の向上などの機能を有しています。今後、人口の減少や利用状況等、社会状況の変化に応じた用途全体の施設規模の見直しを進めていきます。

高島地区では、利用度が低かったり、利用が困難な状況にある中の島公園、権現山公園、西海岸公園については、将来的な廃止を含めてあり方を見直します。

高島ふれあい多目的運動公園は、地域振興の観点から、当分の間引き続き配置しますが、大規模な修繕が必要となった場合は、利用の状況に応じた見直しを検討します。

- 中ノ島公園
- 権現山公園
- 高島ふれあい多目的運動公園
- 西海岸公園
- 高島公園

## 水産振興施設



水産センター  
高島事業所

長崎市では水産業の振興のため、牧島、高島の2箇所の水産センターで種苗生産及び魚類養殖を実施しています。今後、将来的な種苗の需要量、生産性の効率化等を考慮しながら、施設のあり方を見直します。



南風泊漁港  
水産会館

南風泊漁港水産会館は、高島地区の漁業振興のために設置された施設で、当面は現状を維持しますが、地区内漁業者数の状況を踏まえながら、施設の移譲等も含めて将来のあり方を検討していきます。

## 高齢者福祉施設



高砂園

高齢者ができる限り住み慣れた高島で暮らし続けられるように、通いを中心とした訪問サービスや宿泊サービスを組み合わせ提供できる「小規模多機能型居宅介護」等のサービスの提供を検討していきます。

また、高砂園は入所率が低く、バリアフリー化もできていないため、将来的には廃止を検討します。

## 職員宿舎



本町教職員住宅  
(Mアパート)

本町教職員住宅  
(H棟)



高島国民健康保険  
診療所長宿舎

高島地域センター  
所長宿舎

危機管理や人材確保の観点から配置します。既存施設の利用に限らず他の市の財産も活用し、機能の確保に努めます。

## 診療所



高島国民健康  
保険診療所

地域医療サービス確保の観点から配置します。

## 学校



高島小中学校

高島小中学校は、当分の間、現在の施設を適切に管理していきます。

## 港湾施設



高島港ターミナル

高島港ターミナルは、航路利用者にとって必要であるため、現在の施設を適正に管理します。

### 3 グループ協議

今回の対話では、長崎市が考えた高島エリアの公共施設のあり方の見直し（案）について、まず、参加者の皆さんに意見を書き出してもらい、その後、各班で意見のとりまとめをしていただきました。



### 4 発表

各班の発表内容の主なものです。

#### 飛島釣り公園

3班

- 危険な箇所は除いたうえで、イカダを設置して魚を集め、釣り客の増加につなげる。

#### いやしの湯

2班

- 今後も施設を継続していくため、五平太と併せて旅行商品を開発したり、福祉のリハビリで使うことで利用者も増やせるのでは。

#### しまの宿五平太

2班

- 利用者を増やすため、今までの取組みについての検証が必要。
- 旅行商品とすることで利用者を増やす余地もあるのでは。

#### 市営住宅

3班

4班

- 空き部屋2戸を1戸につなげて、民泊として活用してはどうか。
- エレベーターの設置には大変な費用がかかるので、新しい住宅を造った方がいい。

#### 高島市場

1班

3班

- 料理を提供したくても火が使えない。市場という縛りをなくせば規制が外れているいろいろな利用ができる。
- 空きスペースを、人が集まって利用できるようにしてはどうか。

#### 高砂園

1班

2班

3班

- 小規模多機能型居宅介護施設にして、グループホームを併設してはどうか。
- 診療所を高砂園に移してはどうか。
- 2部屋をつないで1部屋にして広くすれば、利用者が増えるのではないか。

#### その他

4班

- 公共施設を廃止する場合、そこで働いている方はどうなるのだろうか。
- 公共施設を廃止するとき、それはいつになるのか。継続する場合はいつまでなのか。もっと詳しく説明してほしい。

【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

- 行政によるサービスの提供が必ずしもうまくいくとは限りません。そこには民間の知恵が入る余地があるかもしれません。サービスを提供するのが本当に公共施設でいいのか、他に方法がないかを考えることが大切です。
- 将来、どのサービスがいつまで必要なのか、という時間軸の発想を持ちながらサービスのあり方を考えると、議論がもっと深まるかもしれません。
- 公共施設のあり方を考えるとき、自分たちでできることや面白い発想などを持ち寄って、それを合わせると新しい発想が生まれるかもしれません。次回もぜひみなさんのお考えやアイデアをいただきたいと思っています。

#### 次回の対話では…



第2回目の対話で出された意見に対しての市の考え方をご説明し、さらに話し合いを進めたいと考えています。

#### 今後の予定

※前回と開始時刻が異なります

第3回 7月22日(日)18時30分～

場所：高島ふれあいセンター

多目的ホール

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)